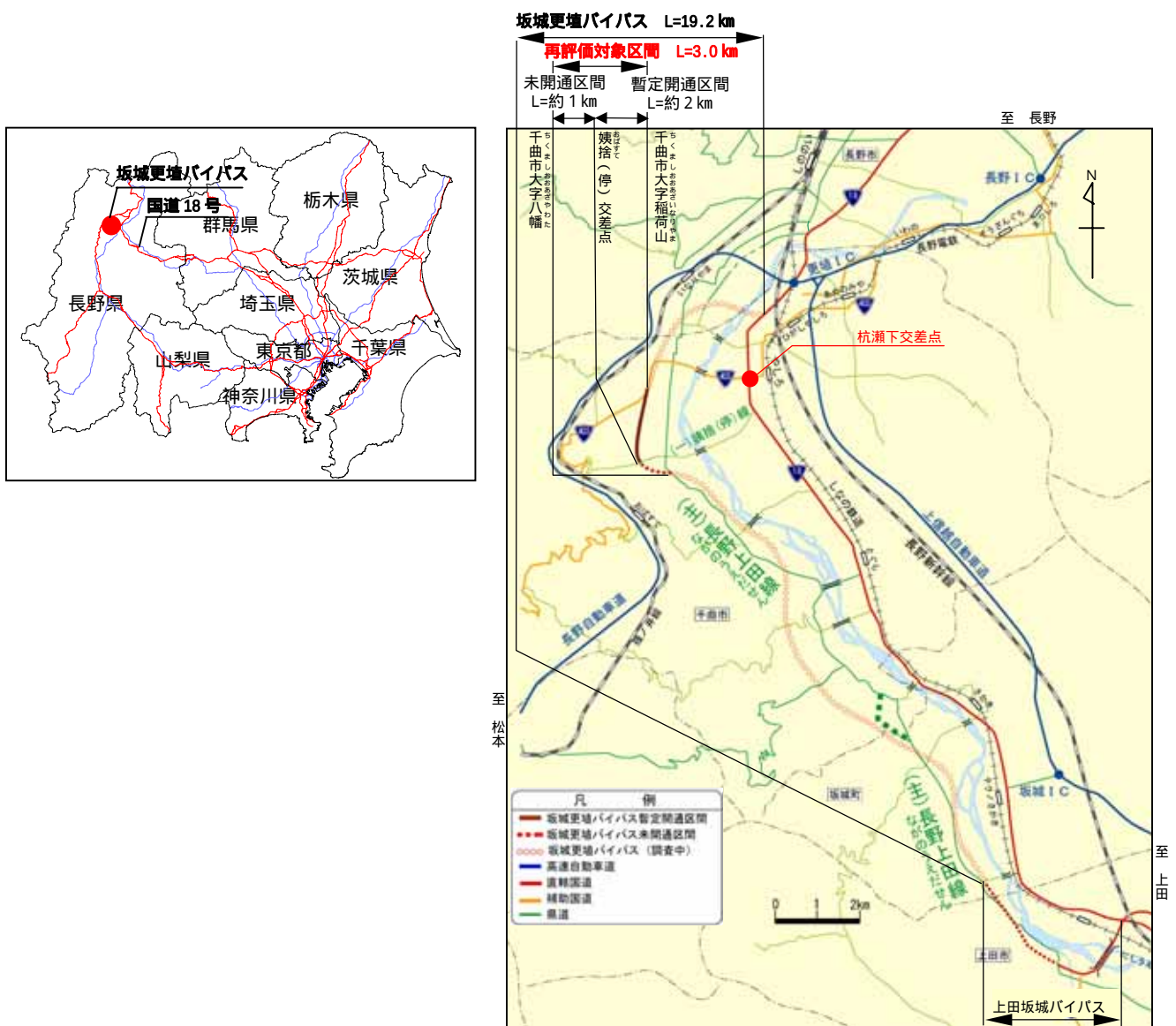


1. 事業の目的

坂城更埴バイパス全体事業の目的

- ・ 国道18号の渋滞の解消
- ・ 千曲川左岸側地域の活性化

坂城更埴バイパスは長野県千曲市大字屋代から埴科郡坂城町小網を結ぶ全長19.2kmの国道18号のバイパスです。当該区間の国道18号沿線は市街化の発展、産業の進展により、交通需要が増大したため、厳しい渋滞が発生しています。特に国道18号と国道403号との交差点である杭瀬下交差点付近は、渋滞の著しい箇所となっています。本事業はこれらの渋滞の解消と千曲川左岸地域の活性化を目的としています。



坂城更埴バイパス再評価対象区間の事業目的

- ・ 並行する主要地方道長野上田線からの交通の迂回
- ・ 工業団地および住宅集積地のアクセス支援

国道18号の渋滞を緩和するための抜本的な対策としては、坂城更埴バイパスの全線の整備となりますが、当面は千曲川左岸側の主要地方道長野上田線等を活用する必要があります。しかし、千曲市市街地内の主要地方道長野上田線は幅員が狭く、クランク箇所も存在することから円滑性や安全性が課題となっています。また、八幡地区には、平成4年から分譲されている工業団地もあるため、アクセスの向上を図る必要があります。

そこで、千曲市市街地の渋滞軽減、安全性の確保及び千曲川左岸の八幡工業団地のアクセス支援を目的とし、坂城更埴バイパス（千曲市大字稲荷山から千曲市大字八幡までの3.0km）を平成9年度に事業化しました。

このうち、千曲市大字稲荷山から（県）娯捨停車場線までの約2kmについては平成17年12月に暫定2車線開通しました。

坂城更埴バイパス周辺の主要施設

